

一橋大学社会科学古典資料センター所蔵

カール・メンガー文庫

マイクロ版集成



CARL MENGER COLLECTION

HOUSED AT THE CENTER FOR HISTORICAL SOCIAL SCIENCE LITERATURE,

HITOTSUBASHI UNIVERSITY

ESTABLISHED IN 1869

 **MARUZEN**

一橋大学社会科学古典資料センター所蔵

「カール・メンガー文庫」マイクロ化・出版事業について

本文庫は、限界効用理論を提唱したオーストリア学派の始祖であり、近代経済学の源流の一つとして経済学の歴史において偉大な足跡を印したカール・メンガー教授の個人蔵書コレクションです。大正11年に当時の東京商科大学の留学生の尽力により、一橋大学の所蔵となり、現在ではロンドン大学の「ゴールドスミス文庫」、ハーバード大学の「クレス文庫」、コロンビア大学の「セリグマン文庫」と並んで経済学の世界4大文庫のひとつに数えられています。数多くの洋古書コレクションが我が国に招来されていますが、そのなかの最高峰に属するものです。

当事業は、15世紀の初期活字本から20世紀にいたるこのカール・メンガーの蔵書約19,000冊、600万頁を1993年7月から約2年をかけて16ミリ・マイクロフィルム約3000本に変換しようとするものです。これは、弊社にとり国立国会図書館所蔵「明治期刊行図書」に始まる資料保存マイクロ化事業シリーズの第5弾ですが、短期間にこれほど大量な欧文図書をマイクロフィルムに変換する事業は、我が国はもちろん世界に目を転じてみても例を見ません。

当文庫は現在に至るも数多くの研究者の方々に利用されていますが、この度のマイクロ化を通じてさらにその利用の便を増し、併せて将来に向けて原資料のよい状態での保存が図れることは大変意義あるものと確信しております。

The portion of Carl Menger's private collection owned by Hitotsubashi University is considered to be one of the four greatest economics libraries in the world.

This is the fifth in Maruzen's series of projects to preserve documents on microfilm. Over a two-year period starting in July of 1993, the university's entire Menger Collection, consisting of approximately 6 million pages (19 thousand volumes), will be reproduced on about 3000 reels of 16mm microfilm. This will be the first time anywhere that such an enormous volume of pages has been microfilmed in such a short time.

We have no doubts as to the importance of this project: in addition to enabling many more people to use the collection, it will ensure the preservation in good condition of the original volumes.

丸善貴重資料保存マイクロ化事業

- * 国立国会図書館所蔵「明治期刊行図書」マイクロ版集成
- * 岡山大学附属図書館所蔵「池田家文庫藩政史料」マイクロ版集成
- * 東北大学附属図書館所蔵「狩野文庫」マイクロ版集成
- * 東京大学史料編纂所所蔵「大日本維新史料稿本」マイクロ版集成

メンガーと彼の文庫

京都大学教授 八木 紀一郎

カール・メンガーがウィーン大学で教鞭をとったのは、ドイツ語圏の学問の世界で、経済学が国家学の枠組みから独立する時期にあっている。彼は社会主義文献を集めた法学者の弟アントンと張り合うようにして経済学文献を収集し、学生や若い研究者にもそれを利用させたが、この見事なコレクションは彼にとって、経済学の存在証明にも近い意味をもっていたのではないだろうか。

オーストリア学派を研究対象とする者として当然のことながら、メンガー文庫は、私にとって研究者となってこの方、もっとも恩恵をこうむったコレクションである。いや、この一次資料をも含む豊かなコレクションの存在が、私をメンガーとオーストリア学派の研究者にしたといってもよい。

経済理論の革新を告げた1871年の『経済学原理』に先立つ資料としては、K.H.ラウの『経済学原理』への書き込みがあるが、W.ロッシャーの『経済学の基礎』への書き込みの意義もそれに劣らない。また、スミス、リカード、J.S.ミルの著作にも書き込みがあり、メンガーの古典派経済学観をさぐる手がかりとなる。『経済学原理』の特製本は、第2版の刊行を意図していたメンガーが、1880年代の方法論争の世界に向かっていった跡をとどめる。そして晩年の色鉛筆によるなぐり書きを残した無数の書物がある。そうした書物のページを開いてメンガーの筆跡を辿る時、私は、うず高く本のつまれた書齋に座したメンガーの息づかいまでが聞こえてくるような気がしたものである。

この文庫は、さらにメンガーのもとで育ったオーストリア学派の経済学者たちの文献のほとんど完全なコレクションになっている。それらの著作には師への敬意あふれる献辞が記されているが、私には、多くの弟子た

ちに囲まれながらも、メンガーは決して幸福そうには思えない。たとえば、この文庫の一つの謎とされる地理書や旅行記の収集である。思い浮かぶことは二つある。一つは、メンガーが教えた皇太子ルドルフが旅行好きだったことである。いま一つは、退官前後のメンガーが社会学・民族学の領域にまで探求を拡大しようとしていたことである。皇太子は自殺し、メンガー晩年の探求も構想だおれに終わった。やはり、これはかつての持主の体臭を濃密に残した文庫なのである。

Menger and His Collection

Carl Menger's collection of economics literature, which he may have felt to be the evidence of the very existence of economics, is the collection that has benefited me most as a researcher of the Austrian school. Or rather, I should say that this rich collection is what led me to be a researcher of Menger and the Austrian school.

The collection contains an enormous number of books with valuable margin notes written by Menger himself. Among these are works by K.H.Rau, Wilhelm Roscher, Adam Smith, David Ricardo, and John S. Mill, to name a few. Reading his handwriting, I feel as if I could hear the sound of his breathing as he sits in his book-filled study.

This collection also includes nearly all the works of the economists of the Austrian school, with dedications to Menger, their instructor. Although he had many disciples, I don't think Menger was truly content. For example, why does this collection contain so many geography and travel books? I can think of two possible clues as to the solution of this mystery. One is that Prince Rudolf, whom Menger taught, liked travel. The other is that Menger, late in his life, planned to add sociology and ethnology to his fields of study. The prince committed suicide, and Menger never realized his plan. This is indeed a collection in which the presence of the original owner remains strong.

Kiichiro Yagi
Professor at Faculty of Economics
Kyoto University



メンガー文庫と経済学史研究

関西学院大学教授 田中敏弘

メンガー文庫が今日まで経済学研究、とくに経済学史研究のうえで果たしてきた役割は実に大きい。私も戦後メンガー文庫のお世話になった一人である。私はゴールドスミス文庫、クレス文庫、とくにセリグマン文庫の恩恵を受けたが、メンガー文庫はこれに並ぶものである。今日では、わが国の社会科学上の古典所蔵の事情も改善されてきたというものの、メンガー文庫ほどの稀有の大コレクションは、ますますその輝きを増すことだろう。

と言っても、メンガー文庫は13カ国語にわたり、社会科学全般にも及ぶ約19,000点の膨大なものであり、まさに経済学の宝庫である。その入手に苦勞された碩学大塚金之助先生ですら「象のしっぽどころか、しっぽの先をちょっとまでしているようなもの」と書いておられるのだから、経済学史の一研究者に過ぎぬ私など、巨象のしっぽの先のそのまた先っぽにさわるぐらいでしかない。

だが、メンガー文庫の場合とくに重要なのは、メンガー自身による蔵書へのさまざまな形の書き込みであることは言うまでもない。これに類した書き込みの解説のもつ難しさと喜びのささやかな経験をもつ者からみれば、今回のマイクロフィルム化による公開は、一方で文庫自体の保存を大きく改善すると共に、研究状況を大きく一変させると思われる。いまや文庫の全貌を一挙に見渡すことができるようになるからである。これは、既になされた、書き込みの検討によるメンガー『経済学原理』の形成過程の研究にとどまらず、メンガーの遺したさまざまな書き込みの全面的検討を容易にするはずである。同時にそれは、内容的にはメンガー経済学を限界主義理論体系への展開という従来の単一的理解を超えて、メンガー経済学の独自性理解の深化をもたらすだろう。そしてメンガー理解

をこれまでの狭い観点から解放し、広くかつ深い全知性的研究を可能にするだろう。

さらに、今回の企画は、デューク大学所蔵の Carl Menger Papers の研究とあいまって、メンガー経済学の総合的理解をいっそう深めるだけでなく、それと関連して、旧オーストリア学派は無論のこと、さらに新オーストリア学派との関連という興味ある経済学史的な研究を国際的に促進することによって、経済学史研究の観点から、現代経済学に貴重な示唆を与えることが期待される。

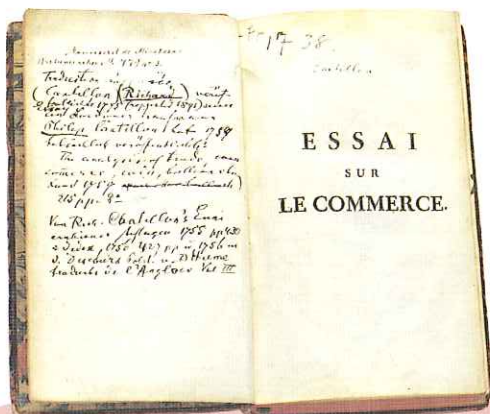
The Menger Collection and the Study of the History of Economics

The Menger Collection has played an enormous role in economic study, and especially in the study of the history of economics. The collection is truly a treasure of economics-related works.

It goes without saying that the margin notes written by Menger himself are an especially important part of the collection. Without doubt, the microfilming project will not only greatly improve the preservation of the collection, but also greatly change the situation of economics studies, as it will make the entire collection readily accessible. This should facilitate the thorough investigation of Menger's margin notes, as well as the study of the evolution of his "Grundsätze der Volkswirtschaftslehre" through consideration of these notes. At the same time, this accessibility will help scholars better understand the uniqueness of Menger's economic theories—to go beyond the rather simple traditional practice of developing his ideas toward a system of marginal productivity theories. This will broaden the currently narrow perspective of research on Menger, creating a rich, wide-ranging field of study covering every imaginable area of intellectual history.

This project, coupled with studies of the Carl Menger Papers owned by Duke University, will deepen the general understanding of Menger's economic theories. It will also promote internationally the fascinating research being conducted in the field of the history of economics on the relationships between Menger's theories and the Neo-Austrian and Old Austrian schools. Thus, the project is expected to make valuable contributions to modern economics studies through the study of the history of economics.

Toshihiro Tanaka
 Director of University Library/
 Professor of Economics
 Kwansai Gakuin University



経済学史研究のテキストの宝庫

慶応義塾大学経済学部長 飯田裕康

このたび「メンガー文庫」のマイクロ版が作成されることとなったことは、経済学史研究者にとってまことに喜ばしいことである。本文庫が一橋大学社会科学古典資料センターに移管され、研究者にとっての利用の便は大いに改善されたのであるが、本文庫に含まれる文献の多くが稀覯書に数えられるという事情は、やはり本文庫へのアクセスを困難なものとしていたといつてよいであろう。マイクロ版がこのような状況を大いに改善するものとなることは確かであるが、それ以上に今回の企画は画期的なものといつてよい。

まずなにより、メンガーによって収集された文献の全貌が容易に知られるようになったことをあげなければならないが、それ以上に蔵書へのメンガー自身による随所に見られる書き込み等をおして、経済学史の最大の劃期の一つをなしたメンガー経済学の位置づけにかんする新たな問題提起につながる材料を、より容易に手元に置くことが出来るようになったことを指摘しておかねばならない。また、メンガー研究の現状からして、かれの名著『国民経済学原理』（1871）のもつ広範な内容に、きめ細かい分析が必要であること、それを成功裡に達成するには、経済理論的視点のみではもはや十分ではないことは常識となっている。この点では今回の本文庫のマイクロ化は、メンガー研究者のみならず経済学史研究者に共通な課題を課しているといえる。というのも、一つの学説体系や思想体系の創造にかかわる大量で広範なテキストに対峙するとき、どのようなコンテキストにおいてテキストを読み解いていくかという問題が、分析する側にいつそう重く提起されるからである。

以上のようなことにつけ加えて、今回の企画によって先にも述べたように稀覯書に属する文献に容易に接近し

うようになることの意義を考えておきたい。貴重な古本が収集の対象としても研究の対象としてもかかえている問題は、それらをいかに保存するかという問題である。今日古本をめぐる物理的環境はますます悪化しつつある。保存を考えると、それを利用する立場と真っ向から対立する方向を打ち出さざるをえない。貴重な文献情報を広く公開してゆこうと考えている図書館が等しくかかえる難問である。マイクロ化は、こうした状況を当面打開する有効な方法である。このような方向に一步踏み出す英断をされた一橋大学に心から敬意を表する次第である。これによって貴重書ないし稀覯本のもっている意義がさらに理解されることを念願せずにはいられない。

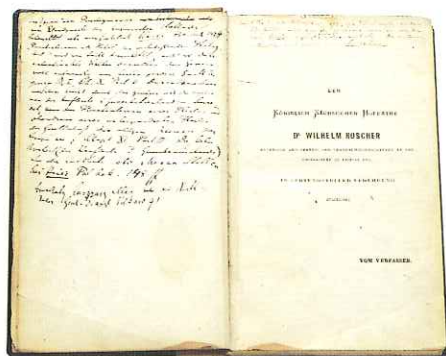
A Treasure of Texts on the Study
of the History of Economics

The project to preserve the Menger Collection on microfilm is good news for researchers of the history of economics. It is certain the microfilm will greatly improve access to the collection, which has been severely restricted because of the rare books it contains.

This is an epoch-making project. First of all, it will make the entirety of the collection easy to study. More importantly, it will provide greater access to the margin notes written by Menger himself — notes which suggest new issues related to the situation of Menger's ideas in the framework of the history of economics. Considering the obvious necessity of detailed analysis — which goes beyond economic theories — in the study of the expansive content of Menger's major work, "Grundsätze der Volkswirtschaftslehre", the microfilming gives researchers of Menger and of the history of economics a common topic: confronted with massive, far-reaching texts related to the creation of a system of theories or thought, in what context should one read them?

Many libraries share a major difficulty: although they want to make important works widely available to the public, they have no choice but to do the opposite in order to preserve valuable old books. Microfilming is an effective way out of this dilemma. I would like to express my great admiration for Hitotsubashi University, which has taken a decisive step in this direction. I hope that as a result of this project, the importance of rare and valuable books will be better understood.

Hiroyasu Iida
Dean at Faculty of Economics
Keio University



社会思想史研究の視点から

国学院大学教授 高柳良治

メンガー文庫という、収集者が経済学者として著名であることから経済学中心の文庫と思われがちであるが、目録を一覧すれば一膨大な内容だから大仕事であるが一分かるように、収集の範囲はきわめて広く、社会科学・社会思想の全般に亘っているのである。断片的にならざるをえないが、気づいたことを二三挙げてみたい。

まずドイツの官房学^{カメラリスム}関係の収集が印象的である。官房学は、ドイツにおいて経済学が自立する以前の社会・経済・行政の体系であり、ユスティ、ゾネンフェルスを代表者とする。文庫にはこの二人の著作が、それぞれ20数点収められている。官房学の古典と言われるゼッケンドルフの『ドイツの君主国』(1656年)も入っている。その他、今日ではあまり名前を聞くこともなくなったベッヒャー、ディトマー、ジュースミルヒ、ダルイエス等の著作も見出される。官房学と言え古めかしいが、カントやヘーゲルの社会思想を考えると、ステュアートやスミスとの関係のみならず、官房学との関係が問われざるをえないであろう。

時代をくだって、モンテスキュー、ヴォルテールを先駆とするフランス啓蒙思想、ルソー(1782年版の『全集』他)の社会思想、フランス革命、それに啓蒙の理性を批判してやまないロマン主義等についても多くの資料が集められている。とくにフランス革命については、商業・農業・財政・生計などに関しておびただしいパンフレット類が収集されている。パーク、ゲンツ、バーダー、ミュラー(『国家学綱要』1809年他)等に代表されるロマン主義関係の収集は、これまで目配りが十分とは言えないロマン主義研究のために貴重であろう。そしてまた、文庫は社会主義者の著作を多数収めてもいるのである。それも、サン＝シモン、オーエン、フーリエ、コンシデラン等の初期社会主

義者からマルクス(『資本論』1867年他29点)、エンゲルスへ、さらにラサール、カウツキー等のマルクス以後に及ぶ徹底ぶりである。社会主義思想の再検討のためにも文庫のもつ意義は極めて大きい。

最後に、多くの著作・パンフレットの翻訳までも多数集められていることを指摘しておきたい。翻訳はそのときどきの思想の交流のあり方を示している。マイクロ化によって文庫が身近になることを心から歓迎するとともに、この機会に目録・索引のいっそうの整備が進められることを願ってやまない。

From the Perspective of the History of Social Thought

Although the Menger Collection is believed by many people to contain mostly works on economics (as Menger has been well known as an economist). It actually covers the entire range of social sciences and social thought.

First of all, the collection includes an impressive array of works related to German Cameralism—the study of social, economic and administrative systems that was prevalent in Germany before the establishment of economics. Indeed Cameralism is oldish today, but studies such as the sociological thought of Kant and Hegel must include an exploration of their links to Cameralism.

Secondly, the collection contains many documents on French philosophy in the Age of Enlightenment, social thought of J.-J. Rousseau, French Revolution and Romanticism. Among the documents on French Revolution are many pamphlets about commerce, agriculture, finance, everyday life and so on. The literature related to Romanticism is valuable because it covers areas that have not been researched thoroughly.

Another important feature of the collection is its value in a review of socialist thought: it contains a comprehensive range of works by socialist writers, from early socialists to Marx and Engels, further to post-Marxian socialists.

Finally, it is significant that the collection contains many books and pamphlets translated into different languages. From these, one can gain an understanding of the processes by which ideas were transmitted from culture to culture in each era.

I am very glad that this microfilming project provides easier access to the collection, and hope that the compilation of a detailed catalogue and index will be all the more promoted.

Ryoji Takayanagi
Professor at Faculty of Economics
Kokugakuin University



Types of books in the Carl Menger Collection

カール・メンガー文庫のさまざまな図書



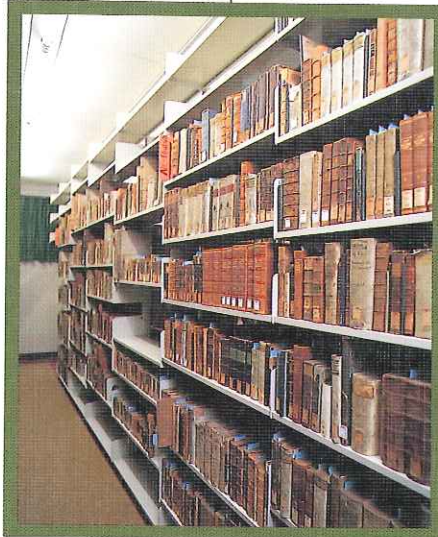
開き不良図書
Poorly bound,
hard-to-open books



極小図書
Extremely small books



酸性紙による劣化図書
Books damaged because of
high-acidity paper



一橋大学社会科学古典資料センター書庫

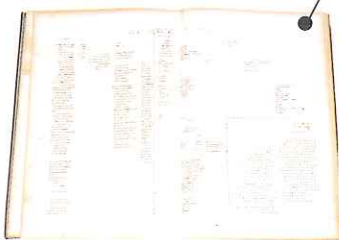
The stacks in the Center for
Historical Social Science Literature,
Hitotsubashi University



インクによる汚損図書
Books stained
due to overinking



極厚図書
Extremely thick books



大型図書
Oversized books



書き込みのある図書
Books with handwritten
margin notes



カラー折込みのある図書
Books with inserts

当集成の仕様とマイクロ化事業の特徴

1 製品仕様 (Specifications)

形態：16ミリ マイクロフィルム オープンリール又はカートリッジ

Formats：16mm microfilm Open reel or Cartridge on ANSI

材質：ポリエステル・ベース (PET) 銀塩マイクロフィルム

Film Types：Silver halide microfilm on polyester base

極性：ポジ極性

Polarity：Positive

機能：自動検索機能付き (カートリッジ仕様の場合のみ)

Access：Automatic retrieval system (only in the case of cartridge)

(注) 弊社の資料保存事業では、フィルム出版の主流であった35ミリフィルムに代わり16ミリマイクロフィルムを採用しておりますが、その理由は下記のとおりです。

- フィルムの品質向上により、解像度などの問題が解決した。
- 通常、16ミリフィルムは1,000駒・2,000頁と35ミリフィルムと比較し2倍の容量を誇り、かつ体積では2分の1と、同一頁数あたり4分の1の保管スペースで済む。
- 収蔵力が4倍ある為、結果として価格を安く抑える事が出来る。
- 最大の利点として、自動検索が可能である。

2 耐久性・保存性 (Durability)

マイクロフィルムは耐久性の点で他媒体に比較し有利です。

書籍のように頁を破られたり、切り取られたり、汚損されたりする心配がありません。また、銀塩フィルムに特殊アーカイバル (AGガード) 処理を施すことにより、500年以上の耐用年数を誇り、光ディスクやCD-ROMなどの電子媒体と比較し、有利です。

3 汎用性 (Reliability)

電子媒体の場合、ハードウェアを含めた規格の変更問題を避けて通れず、現在の規格の機器が100年後まで存在するかどうか疑問が残ります。この点マイクロフィルムであれば、どのような新しいメディアにも簡単かつ経済的に変更することが可能です。

4 省スペース (Saving Space)

マイクロ化により収納に要するスペースはその収納法により異なりますが、元の資料と比較して、スペースを数10分の1に節約できます。

5 利用の改善 (Wide Availability)

資料の保護ならびに図書館利用規則の点から、従来「禁複写」、「禁閲覧」などにより利用不可または一定の制限を受けていた図書も、マイクロフィルムでの利用の便を飛躍的に改善できます。その結果、研究の一層の促進が期待できます。

6 利用のし易さ (Friendly Use)

マイクロフィルムは、リーダー・プリンターなど、最新のマイクログラフィックス技術により、利用効率が格段に向上しました。索引のアクセッション・ナンバーにより高速自動検索が可能です。またインターフェースを利用すると、パソコンとのLANの構築も可能です。

7 コスト・パフォーマンス (Cost Effectiveness)

光ディスクやCD-ROM等の入力費用と比較し撮影費用が安く、マイクロフィルムはコスト・パフォーマンスに優れた媒体と言えます。

結果として、撮影後の頒布価格を低く抑えることができ、ご利用しやすい価格でご提供することができます。

8 高解像度 (High Resolution)

フィルムの品質の向上、マイクロカメラの改善等、マイクログラフィックスの進歩にともない、他媒体にない高解像度を達成しており、写真等に関してマイクロフィルムは大変便利です。

価格表

■フルセット／全 16 セクション. 2,799 リール

* セット価格 …… ￥61,578,000

- | | |
|---|---|
| 第1セクション : 社会科学／英語文献
SOZIALWISSENSCHAFTEN :
ENGLISCHE BÜCHER (ENG)
●第1ユニット. 135リール
定価 ￥3,375,000
●第2ユニット. 135リール
定価 ￥3,375,000 | 第8セクション : 法律学
RECHTSWISSENSCHAFT. (JUR)
160リール
定価 ￥4,000,000 |
| 第2セクション : 社会科学／ドイツ語文献／古ドイツ語文献
SOZIALWISSENSCHAFTEN :
DEUTSCHE BÜCHER :
Alt-Deutsche Bücher. (ALT) 108リール
定価 ￥2,700,000 | 第9セクション : 歴史学
GESCHICHTE. (GES)
195リール
定価 ￥4,875,000 |
| 第3セクション : 社会科学／ドイツ語文献／便覧類
SOZIALWISSENSCHAFTEN :
DEUTSCHE BÜCHER :
Compendien. (COM) 135リール
定価 ￥3,375,000 | 第10セクション : 地理学、社会学
GEOGRAPHIE UND SOZIOLOGIE.
(GEO, SOZ)
64リール
定価 ￥1,600,000 |
| 第4セクション : 社会科学／ドイツ語文献／モノグラフ
SOZIALWISSENSCHAFTEN :
DEUTSCHE BÜCHER :
Monographien. (MON)
●第1ユニット. 166リール
定価 ￥4,150,000
●第2ユニット. 167リール
定価 ￥4,175,000 | 第11セクション : 統計
STATISTIK UND DEMOGRAPHIE.
(STA, DEM)
53リール
定価 ￥1,325,000 |
| 第5セクション : 社会科学／フランス語文献
SOZIALWISSENSCHAFTEN :
FRANZÖSISCHE BÜCHER. (FRA)
●第1ユニット. 143リール
定価 ￥3,575,000
●第2ユニット. 143リール
定価 ￥3,575,000
●第3ユニット. 143リール
定価 ￥3,575,000 | 第12セクション : 人類学、民俗学、哲学、神学、自然科学
ANTHROPOLOGIE, ETHNOGRAPHIE,
PHILOSOPHIE, THEOLOGIE,
NATURWISSENSCHAFT,
(ANT, ETH, PHI, THE, NAT)
123リール
定価 ￥3,075,000 |
| 第6セクション : 社会科学／イタリア語文献およびその他の言語文献
SOZIALWISSENSCHAFTEN :
ITALIENISCHE BÜCHER
UND VERSCHIEDENE LÄNDER
BÜCHER. (ITA, DAN, HOL, POL,
POR, RUS, SCH, SPA, UNG)
107リール
定価 ￥2,675,000 | 第13セクション : 語学、書誌学
LEXIKA UND BIBLIOGRAPHIE.
(LEX, BIB)
120リール
定価 ￥3,000,000 |
| 第7セクション : 社会科学／ラテン語文献・インキュナブラ
SOZIALWISSENSCHAFTEN :
LATEINISCHE BÜCHER. (LAT, INC)
115リール
定価 ￥2,875,000 | 第14セクション : 紀行
REISEN. (REI)
●第1ユニット. 141リール
定価 ￥3,525,000
●第2ユニット. 142リール
定価 ￥3,550,000 |
| | 第15セクション : 逐次刊行物
ZEITSCHRIFTEN. (ZEI)
117リール
定価 ￥2,925,000 |
| | 第16セクション : その他
DIVERSE. (DIV)
187リール
定価 ￥4,675,000 |

当事業により発掘された資料例



マイクロ化事業と並行して行なわれている一橋大学の「メングー文庫目録改訂事業」により合綴資料の見直しが進み、英語文献 (Englische Bücher) の分類約 2,000 冊ほどの中で 56 点の新資料が発掘されました。今後他の分類の作業が進むと、300 点以上の新資料が発掘されることが予測されています。これら資料のなかにはグロティウスの 1648 年刊の書簡 (ラテン語、死の 3 年後に出版された初版・初刷) をはじめ、J. タッカー、J. スチュアート、E. パーク、マルサス、トレンズらの著作が含まれています。とくに“A Collection of Miscellanies relative to Coinage in India” と題する小冊子は J. スチュアートが 1772 年に東インド会社の依頼でインドの通貨状況を調査する際にごく少数だけ私的に印刷したものと思われ、大英図書館、ゴールドスミス文庫、クレス文庫だけに現存する極めて稀覯な資料です。

これら新資料が当集成に更なる価値を付け加えることになると期待されています。次頁に代表的な新資料をご参考まで列挙致します。

Examples of materials discovered in the course of this project

Together with its project to microfilm the Menger collection, Hitotsubashi University is currently engaged in a project to revise the collection catalogue. Thus far, of the approximately 2,000 English-language books that have been examined, 56 volumes have been found which were not known to be part of this collection. It is predicted that over 300 “new” volumes will be discovered by the time every part of the collection has been reviewed. These newly discovered materials will surely make the microfilmed collection even more valuable.

BLACKSTONE, William, Sir

A discourse on the study of the law : being an introductory lecture, read in the public schools, October XXV, M.DCC.LVIII.
Oxford, 1758. (Eng. 113.)

BROUGHAM, Henry.

Present state of the law : the speech of Henry Brougham, Esq.... in the House of Commons, on Thursday, February 7, 1828...
London, 1828. (Eng. 667.)

BURKE, Edmund.

A speech of Edmund. Burke, Esq. at the Guildhall, in Bristol, previously to the late election in that city, upon certain points relative to his parliamentary conduct. London, 1780. (Eng. 218.)

BURKE, Edmund.

Speech of Edmund Burke, Esq.... on presenting to the House of Commons (on the 11th of February, 1780) a plan for the better security of the independence of parliament... London, 1780 (Eng. 218.)

COBDEN CLUB.

The Cobden Club dinner, held at the Ship Hotel, Greenwich on the 13th day of June, 1885. [London, 1885]. (Eng. 494a.)

COBDEN CLUB.

Free trade and the European treaties of commerce... London, 1875. (Eng. 334.)

COBDEN CLUB.

Report of the proceedings at the dinner of the Cobden Club, July 11, 1874. London, 1874. (Eng. 334.)

[DEFOE, Daniel.]

An essay upon public credit... by Robert Harley. London, 1797. (Eng. 1673.)

HALE, William.

The antiquity of the church-rate system... London, 1837. (Eng. 1067.)

JOPLIN, Thomas.

Case for parliamentary inquiry, into the circumstances of the panic : in a letter to Thomas Gisborne, Esq., M.P.
London, [1835 ?]. (Eng. 1055.)

MALTHUS, Thomas Robert.

The grounds of an opinion on the policy of restricting the importation of foreign corn : intended as an appendix to "Observations on the corn laws". London, 1815. (Eng. 928.)

[STEUART, James, Sir.]

A collection of miscellanies relative to coinage in India. [n.p., 1772 ?] (Eng. 1474.)

TORRENS, Robert.

An essay on the influence of the external corn trade upon the production and distribution of national wealth...
London, 1820. (Eng. 1542.)

TUCKER, Josiah.

A brief essay on the advantages and disadvantages which respectively attend France and Great-Britain, with regard to trade. London, 1787. (Eng. 1560.)

TUCKER, Josiah.

Four letters on important national subjects addressed to the right honourable Earl of Shelburne. 2 ed...
London, 1773. (Eng. 1560.)

TUCKER, Josiah.

An humble address and earnest appeal to those respectable personages in Great Britain and Ireland... 3 ed...
London, 1776. (Eng. 1560.)

TUCKER, Josiah.

... The respective pleas and arguments of the mother country, and of the colonies, distinctly set forth... Gloucester,
1775. (Eng. 1560.)

At head of the title : Tract V.

[TUCKER, Josiah.]

A series of answers to certain popular objections, against separating from the rebellious colonies, and discarding them entirely... Gloucester, 1776. (Eng. 1560.)

WESTMINSTER elector.

Considerations on the Reform Bill. London, 1831. (Eng. 667.)



丸善株式会社 [学術情報ソリューション事業部 企画開発センター]

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル 7F

TEL 03-6367-6078 FAX 03-6367-6184 <http://www.maruzen.co.jp/>

営業部・支店・営業所＝横浜・八王子・大宮・筑波／札幌・盛岡・仙台・名古屋・岐阜・
金沢・京都・大阪・神戸・岡山・松山・広島・福岡・長崎・熊本・沖縄／ニュージャージー